

先週のマーケット動向(7月4日~7月8日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,299.5	1,311.0	1,294.0	1,300.4	+3.1
JPY/KRW	9.6245	9.6889	9.5003	9.5850	▲0.024
KOSPI	2,310.73	2,367.84	2,276.63	2,350.61	+45.19

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上に行っており、4日のドル/ウォンは1,299.5ウォンにてオープンし米国休日であったことから市場のアクティビティは低く、5日にかけてドル/ウォンは1,300を挟んで方向感に乏しい展開。しかし5日海外時間のNDF市場にて投機的なウォン売りが入り、NDFレートながらドル/ウォンは1,315レベルまで上昇した。6日日中にはドル/ウォンは週高値1,311.0まで上昇するも、他通貨対比売られていることも含め、当局による介入懸念が相応に意識されドル/ウォンは反落。6日海外時間に発表されたFOMC議事録ではインフレのアップサイドリスクに対し、経済への悪影響を厭わず積極的な引き締めを続ける方針が示唆されていたことから米金利は上昇したものの、株式市場は企業決算に注目が移り、商品毎に異なる動きが観測。韓国においても外国人投資家による株の買い戻しが見られ、ドル/ウォンは上値の重い展開が継続した。結局先週末対比3.1ウォン上昇した1,300.4ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値の重い展開を予想。引き続き市場の注目は米金融政策とリセッションへの懸念ではありつつも、株式市場は企業決算に注目が移り、インフレに関する材料にはやや食傷気味な印象だ。韓国においても良好な企業決算を背景に外国人投資家による株買いが入りやすく、ドル/ウォンの上値を重くしよう。さらに、13日のBOK会合にて50bpの利上げも期待されており、ウォン買い主導でのドル/ウォン下落が見られるのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1280 ~ 1310	9.35 ~ 9.65	135.5 ~ 137.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 11日(月) 日 5月 機械受注
- 13日(水) 米 6月 CPI
- 韓 6月 失業率
- 中 6月 貿易収支
- 韓 BOK 政策金利発表
- 14日(木) 日 5月 鉱工業指数 確報値
- 米 6月 PPI
- 15日(金) 米 7月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 米 6月 鉱工業生産
- 米 6月 小売売上高
- 米 7月 NY連銀製造業指数
- 中 6月 鉱工業生産
- 中 6月 小売売上高
- 中 2Q GDP